



■しろた・やすのり 明治学院大  
法卒。1974年東京  
ライセンスアカデ  
ミー（現ライセン  
スアカデミー）を  
設立し社長。高校  
生と大学・専門学  
校をつなぐ進路支  
援事業を展開し、  
来日する留学生の  
支援事業や「大學  
新聞」「進路新聞」  
の発行も手がけ  
る。神奈川県出身。

ライセンスアカデミー社長

白田 康則さん (63)

優良成長企業を認定 学生に発信

## トップは語る

—高校生が進学や就職を考えるための進路相談会を  
全国で年に6000回以上も開いている

「偏差値だけではなく、どんな職業があり、自分はど  
んなことに興味があるかを考えた上で、進路を決めてほ  
しい。相談会には職業体験や企業情報、大学と連携した  
入学説明会などを盛り込み、考える材料と機会を提供し  
ている。学校を通じて、全国の高校生の3分の1に当た  
る115万人が参加している」

—大学や高校など6000校に3万部を配る「大學新聞」  
のつながりを活用し、3年前から大学生の就職支援に乗  
り出した

「多くの学生は、日本の企業数の1%にも満たない大  
企業ばかりに入社エントリーシートを出して落とされ、  
自信をなくしている。大企業だけの就職活動で内定を  
もらえずに諦め、いきなり（フリーターなど）非正規雇  
用を選ぶケースも珍しくない。日本には中小でも優良で  
成長性のある企業は多く、若手の人材を切望している。  
このままでは若者、企業だけでなく日本社会の損失だ」

—今年から「優良成長企業認定制度」を始めた

「学生は情報を持っていないので、われわれが1社ず  
つ訪ねて吟味して、優良で成長性のある企業として認定  
し、就職説明会などを通じて情報発信するとともに、就  
職活動中の学生とのマッチングを図る。認定企業は現在  
100社程度だが、将来的には1万社にしたい」

—就職活動をインターネットに頼る傾向が強い

「ネット上にはたくさんの情報があるように見えて  
も、得られるものは限られている。説明会などに足を運  
んで複数の企業の人と実際に話をしなくては、本当のこ  
とは見えてこない。現代は親も大企業志向が強いが、大  
企業だから安心という時代ではない。親やネットに依存  
せず、学生にはもっと自分自身で進路を考えてほしい」